

まにわ恭子 NEWS LETTER

発効日 / 2004年1月30日 発行者 / まにわ恭子 <http://www.10.ocn.ne.jp/~ikiiki>

<連絡先>

馬庭恭子事務所・まにわ恭子後援会
〒730-0051
広島市中区大手町2-5-11
TEL / FAX 082-541-3151
ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp

広島市議会議員控入室
TEL 082-245-2221
FAX 082-245-2223

Maniwa-k@gin.city.hiroshima.jp

恭子の

議会つれづれ

この12月議会で、私は何人かの議員と、内閣総理大臣、外務大臣などに宛てて、「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」を提出するよう提案しました。しかし、これは否決され「イラクへの自衛隊派遣について慎重を期することを求める意見書」が採択されました。日本は、世界唯一の被爆国です。そして、ここは、被爆地ヒロシマです。国際平和文化都市でもあります。ヒロシマがイラクへの自衛隊派遣についてどのような態度表明をするか、世界が注目しているのです。被爆の教訓の上に作られた平和憲法が踏みにじられようとしている時、「慎重を期する」というような消極的で曖昧な要望ではなく、あくまでも中止を求める強い態度表明をするべきと考え、私はこの意見書の採択には反対しました。

1月16日にイラクに先遣隊が出発しました。その後も、次々と自衛隊の派遣が予定されています。先遣隊の自衛隊員とその家族が肩をだきあって泣いている光景が報道されていましたが、自分の家族の無事を祈ることではいっぱいなのだと思います。

日本に原爆がおとされ、戦争が終わって、59年という歳月を経た今、なぜ悲しい物語のはじまりをまた見なくてはならないのでしょうか。私は戦後生まれですが、父母の時代の多くの方は癒えることのない悲しい物語をそれぞれに抱えています。先日の二外交官の死で、



父の棺をみつめ、涙をこらえきれず泣いていた奥大使の息子さんの姿は、これから起こるかもしれない出来事を想像させるものではないでしょうか。

情緒的すぎるといわれるかもしれませんが、私は

「いのち」を守る仕事をしてきたので、「いのち」を安易に扱うことに強い憤りを感じるのです。必要とされているのは、武装した軍隊ではなく、人道支援の経験も知恵も持っているNGOなどの民間支援なのではないでしょうか。

被爆後、どんな戦争にも参加しないと誓った初心に戻り、ヒロシマ市民の一人として、イラクへの自衛隊派遣の中止を訴えたいと思います。

「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書案」への賛成と「イラクへの自衛隊派遣について

市議会 こぼれ話

議会の委員会の最中ずっと職員が3人くらい待機して議員にお茶やお水をサービスしてくれます。議会の委員会は通常2,3時間かかり、時には昼食後さらに2~3時間続くこともあります。

その間担当の女子職員はタイミングをはかってお茶くみをしなくてははいけませんし、あと片付

けもあるので本来の事務仕事に専念できません。

男女共同参画条例施行の時代にこのお茶出しには疑問をいただいていたので、私は議員になってから、委員会でのお茶を「私はいりません」とはっきり、意思表示していました。以前からこのお茶出しのことは議会事務局でも懸案だったということです。議員のなかには「お茶ぐらいだしてもらいたい」という意見の人もいましたが、結局話し合いの結果、各

自ペットボトルを持参することになりました。これだけのことに、信じられないほど時間がかかったのは、お茶を出す側の立場が分からない男性議員が大多数だからでしょう。

市政とは直接関係のない問題かもしれませんが、男女共同参画時代の全く感じられない議会を身近なところから少しずつ変えていきたいと思いますので、応援してください。



12月 (12月9日～19日) 定例議会報告



広島市議会議員報酬 10%削減を提案

広島市議会では、1995年から議員定数の見直し(法定定数より4人減の60名)を行い、すでに累計金額、9年間で約9億円の減額を行ってきました。また、2003年5月から海外視察費の見直しにより、約700万円の削減となっています。

現行の広島市の議員報酬は、下の表の通りです。議員には、退職金も雇用保険もないので、議員活動を保障するためにこれくらいの報酬が必要という意見もあるし、逆にもっと低くてもいい、という意見もあります。

議員報酬・議員定数の適正なあり方、政務調査費(活動報告書作成、研修など)用途の透明性の確保など、抜本的に検討する時期にきているのではないのでしょうか。

ともあれ、官・民を問わず広島多くの市民が賃金カットなどの厳しい現実にもきあっている現在、報酬が市民の税金である私たち議員もまた、同じ痛みを分け合うのは当然だと思います。

しかも、広島市は、国と同じように放漫運営、問題の先送りのせいで、財政が破綻状態です。この状態を作り



広島市事務執行での 公正確保条令に反対

広島市公正職務調査委員会の設置
職員の事務執行に関する働きかけへの対応

公務員である市職員に対して、外部から様々な働きかけがあることが、去年の調査結果の報告書で明らかになりました。そこで、働きかけがあった時に、個人の力量に頼らず、組織として対応をすること、また、それを公的な記録として報告すること、保存することを義務化することがこの条例の目的です。主な内容は下記の通りです。

広島市公正職務調査委員会の設置(委員3名)

職員の事務執行に関する働きかけへの対応等働きかけを記録する。

不当な働きかけを行う者に対し警告等行う。

公正を害する事実を委員会へ通報できる。

議員等による市職員への働きかけを制限する条例です。

出したのは決して行政だけでなく、(私自身は1年生議員ですが)私たち市議会にも責任の一端があると考えています。危機を招いた原因と責任をさらに明確にしなければなりません。

私は10%削減案を12月議会に提出すべく努力しましたが、議案を提出するための5人が集まらず、断念せざるを得ませんでした。私の提案した10%の削減が実施されれば86,000×60×12ヶ月で、年間約6,000万円、4年間となると2億4,000万円の削減になります。削減によって得られる2億4,000万円は福祉活動をしているNPO・NGOなど非営利団体への補助金に充てるなど、意義ある使い方ができればと思います。

次の2月議会での議論を目指してがんばっていきます。

広島市議会議員の報酬	
報酬	860,000円 / 月(手取り約60万円)
費用弁償	11,000円 / 議会等出席1日あたり
期末手当	4,798,800円 / 年(手取り約350万円)
会派に配分される政治活動ための費用	
政務調査費	340,000円 / 月・一人あたり

*この手取額は私のものですが、議員によって額は違います。

私たち議員の活動の場は議会で、議案を提出したり、審議することです。ですが、議員活動のなかで、市職員の対応や仕事ぶりについてクレームをつけることはあります。この条例が問題にしているのは「不当」な点、例えば、議員が私的な利害に相当する事柄を市職員に圧力をかけて行わせる、というような事態を想定していることはわかりますが、問題はその「不当な働きかけ」の定義があいまいであること、それを審議する委員会が3名という少人数であることから、働きかけ自体が「不当」とみなされる危険性があることです。また、この点について、納得できる説明も得られなかったことから、反対しました。

職員には、オープンな職場の育成に努め、不当と思われる働きかけがあった場合には、毅然とした態度で職務を遂行してほしいと思います。そのためには市役所全体のバックアップ体制が必要です。

また、暴力による脅迫行為・威圧行為に対しては、警察、弁護士等との連携も考える必要があるでしょう。真に市民に平等である、ということがどういうことなのか、職員ひとりひとりが認識してほしいと思います。その上で、必要ならば、今後、要項・規定の形で発案されたらどうかと考えます。

下水道料金値上げに反対

広島市下水道条例の一部改正
広島市下水道使用料の改定

2004年度から2007年度までの下水道事業の財政収支見直しをしたところ、現行の下水道使用料収入では、できる限りの経営努力を行っても、汚水処理に要する経費の約78パーセントしか賄えない状況です。今後の下水道事業を円

滑に運営していくために、下水道使用料について、2004年4月1日から、平均で22.9パーセントの引上げを行いたいという提案がなされました。

この改定通りですと、一般家庭の標準的な使用水量である月20³m³の場合の使用料は、現行の1,740円から2,220円となります。

下水道料金の22.91パーセントもの急激な値上げは、独立採算のためのワンステップとはいえ、市民への説明が不足していること、まだまだ収入を得るための小さな工夫が不足していることなどの理由から、反対しました。



廃棄物処理手数料 値上げに反対

固形状一般廃棄物処分手数料及び
産業廃棄物の処分に要する費用の改定

簡単に言うと、ごみ処理業者が回収しているごみ(引越しごみや事業ゴミ等)を処理するときに支払う料金を10kg当たり80円 105円値上げをするという条例の改訂案です。値上げにいたった経緯に十分な説明と合意のプロセスがみられないこと、さらに、6年間の据え置き期間に、具体的な歳入アップのための努力がみられないことなど、財政事情を少しでも好転させるための創意工夫が不十分と判断し、反対しました。



今回の値上げ2案に私は反対しました。なぜなら、この事案だけでなく、市役所全体に工夫と努力がたりないと思うからです。税金が主な収入であることは当然ですが、それによりかかりすぎではないでしょうか？

予定された大規模工事を次々に中止しなければならぬ今、「ピンチはチャンス」と思う気持ちで、自ら収益をうみだす努力をしてほしいと思います。もちろん、私たちもどんどん提案していきます。

ここで、私からの提案。

1) 売却できる資源ごみの有効活用持ち去りの規制

新聞等換金できるごみを市の収集前に持ち帰る方がいます。現時点では違法ではありませんが、規制をしている自治体もあります。わずかかもしれませんが、収入になります。

2) 縦割り行政を廃止し、部局同士の協力を

ロサンゼルスではマンホールに色々な絵が書いてあり、それを見て歩くのも楽しみの一つです。広島市のマンホールに企業のコマースをいれれば、これも収入になりませんか？下水道、道路、それぞれの部局がそれぞれ考えていては、うまくいきません。常に広島市という会社の収益のためにアイデアを考えていくことが大事です。

3) 大規模設備工事の工法の再検討

建物を立てるには、色々なやり方があります。安全であることはもちろんですが、材料、工法についても検証していかなければいけません。誰かが建てるのではなく、自分の家を建築するつもりで、担当職員がプロとして、詳細に見積を比較することが必要でしょう。

4) PFIの導入

PFI(Private Finance Initiative)とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。英国など海外では、既にPFI方式による公共サービスの提供が実施されており、有料橋、鉄道、病院、学校などの公共施設等の整備等、再開発などの分野で成果を収めています。PFIの導入により、事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指すことができると考えられています。

以上、思いつくまま並べてみました。

経済危機というこの難局をのりきるには、柔軟な発想と、幅広い点検、見直しが不可欠です。広島市職員が、もっと自由にアイデアをだしあい、広島市を活性化していけるような環境作りをすることも議員の仕事のひとつなのかもしれません。

文教委員会では、不登校や学校を離れたひきこもりの方たちへの援助について質問しました。詳細はHPでご覧ください。



わたしの提言

Run! Kyoko!!

まにわ恭子の走行記録

2003.11
~ 2004.1

11 / 1	岩田シンポジウム 集学的緩和ケア	10	女性議員勉強会
8	在宅緩和ケア	12	本会議一般質問
10	大都市委員会 公共事業見直し委員会	15	
11	決算特別委員会(全体会議 概要)	18	1年生議員忘年会
14	決算特別委員会(全体会議 総括)	19	本会議議決等・広島市立大学
15	徳島 死の臨床	20	看護協会委員長会議
16		22	青空市政相談会in鷹野橋
17	青空市政相談会 生命倫理委員会(県医師会)	1 / 9	大都市委員会
18	公共事業見直し委員会	15	四国がんセンター(松山)教育講演会
19	決算特別委員会(分科会) 総務・厚生	16	市立大学経済学授業
20	決算特別委員会(分科会) 文教・建設	19	次世代育成支援特別委員会
21	決算特別委員会(分科会) 経済環境・建設上下水道(河川費)	20	広島インテリア協議会講演会・新年会
22	クリティカルバス学会	22	都市活性化特別委員会
28	決算特別委員会(全体会議) 討論・採決	23	議会運営委員会 広島市叙勲並びに 国家褒賞受賞者祝賀会
12 / 1	YMCA・県病院	24	女学院大学授業
2	議会運営委員会	26	大都市制度対策特別委員会行政視察
4	議会会派勉強会	27	" 仙台
5	YWCAバザー・私学助成請願	28	" 豊中市
6	日本看護科学学会(三重)	31	熊本大学シンポジウム
7			
9	議会本会議議長説明		

Kyoko
Watching

「おはようございま〜す」
パタパタと朝の準備をしたり、議会事務局に連絡に走ったりと、にぎやかに廊下を行き来する元気な各会派

の職員の方々との挨拶で議会棟の一日が始まります。

私は無党派クラブ調査担当として、まにわ議員のもと、インターネットや議会図書室での情報収集、調査、資料整理などの仕事を受け持っています。

議員一人の一人会派とはいえ、仕事は多岐にわたります。広島市の行政に関わるすべての膨大な資料が集まる市会議員ゆえ、資料整理にはいつも頭を痛めっぱなし…。議員という主演役者の影でチョコマカ動き回る黒子ですが、市民からの大切な市政への意見の広聴・事実関係の確認、政策の検討、そしてもちろん議会・委員会の傍聴というんなことがあって毎日が発見のどきどきの日々です。

そんな中でも、議会もおわり、会議もなし、来客の予定もなし、とぼっかりと何のスケジュールもない一日があります。「今日はのんびりかな〜」と議員控室の椅子にどさどさつつろぎ窓の外に広がる緑の大好きな眺めを見ていると…。いつものように、タッタタッタと元気な足音が…。「おはよう、あのね今日はゆっくりできるはずだったのに、大変なのよ。実はね…」 さあ待ってました、いつものことです。早速私は資料作りのために議会図書室へと走ります。

(無党派クラブ調査担当・坂本真理子)

ミニ集会を開催します

日程

2月16日(月) 14:00 ~ 於江波南集会所

内容

- 「市議会ってこんなところ！」～新人議員の市議会報告
- 「広島市の介護と医療」～看護師の目からみた広島市
- 「何か提案はありませんか？」

申込みは不要です。
お問い合わせのうえ、ご自由にご参加ください



事務所からのお知らせ

ミニ集会にお伺いします。企画カンゲイ!!!

あなたの町に伺って、市政に対する要望や提案、ご相談などをお聞きします。

井戸端会議から市議会へとつないでみませんか。

カンパのお願い

後援会にカンパいただくと助かります。

一口千円で、何口でも下記の郵便局の口座へお願いします。

口座番号 01310-74320 まにわ恭子後援会

後援会入会のお誘い

お友達をご紹介くださいませんか。

イキのいいニュースレターを年4回お送りします。

次回発行は9月議会終了後の10月予定です。

馬庭恭子事務所・まにわ恭子後援会

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11-204

TEL & FAX 082-541-3151

ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp

